



西新潟中央病院

# NST NEWS 第34号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2016年11月8日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線1302

## NSTミニレクチャー第19回 ～COPDのお話し～

月に1度の栄養の勉強、NSTミニレクチャーのコーナーです。

先月10月8日(土)に、西新潟中央病院呼吸器センター主催の「第44回市民講演会 COPD (慢性閉塞性肺疾患)をめぐって」が開催されたので、講演会の内容と合わせてCOPDについてお話しさせていただきます。

### 1. 市民講演会内容について

「肺の生活習慣病COPD」	呼吸器内科医師	松山 菜穂
「COPD、運動が必要なんです」	理学療法士	長谷川 雄司
「COPD、栄養も必要なんです」	管理栄養士	澤田 周矢

講演会では上記の内容からなり、第1部にてCOPDの症状や主原因となるタバコについてや薬物療法等を、肺の実際の写真を交えながらわかりやすく説明されました。続く第2部では、COPDにおける筋肉の役割や必要性から、運動・歩くことの重要性と、栄養との関わりを訴えました。そして第3部では、COPDにおける栄養の必要性、必要栄養量・食事の摂り方、栄養と筋肉との関わりを訴えた講演会となりました。

当日は、会場に多くの地域の皆さんが訪れ、用意された栄養の冊子とゼリーも無くなり、関心の高さが伺えました。



満員の会場



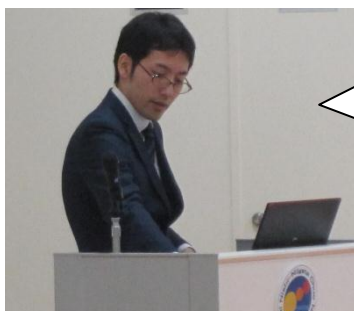
理学療法士より

### 2. COPDとNSTについて

COPD患者さんは消費エネルギーの上昇が知られており、当院でもストレス係数を状態に合わせて設定し、必要栄養量を算出しています。COPD患者さんの約70%は標準体重より10%以上の体重減少が見られており、この体重減少は予後に悪影響を及ぼす事も知られています。今後も、当院でのCOPD患者さんへ早期からの介入を行い、より良い栄養管理を行っていく必要があります。



栄養の資料と試供品



### 編集後記

当院ではNST加算を算定していますが、このためにはNST専従職員を配置する必要があります。私は2013年より3年半、NST専従職員として勤めさせていただきましたが、10月より伊東主任栄養士が新たなNST専従職員となりました。新たな体制となったNSTがより一層盛り上がっていくよう、今後ともご協力の程よろしく願いいたします。 澤田